

令和三年 成人式 式辞

本日、晴れて成人式を迎えられた皆さん、誠におめでとうございます。未来への夢と希望を持ち、若さあふれる新成人の皆さんに、大木町民を代表し、心からお祝いを申し上げます。また、今日まで皆さんを愛情深く育ててこられました、ご両親をはじめ、ご家族の皆さま、そしてこれまで熱心にご指導下さいました先生方にも、心からお慶びを申し上げます。

本日は、大木町議会中島議長には、大変寒い中、そしてご多用の中、ご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年の成人式は新型コロナウイルス感染症予防のため、例年と違い縮小した式典とさせて頂きました。どうぞご理解をお願いいたします。また、実行委員会で作成され、予定されていたビデオメッセージの上映は、中止とさせて頂く予定でしたが、実行委員会の皆さんの強いご意向を踏まえ、静かに鑑賞して頂く事で上映させて頂くことにいたしました。どうぞご協力をお願いいたします。皆さんには、自分が感染しているかも知れないことを念頭に、成人式後の行動においても、感染予防のための責任ある行動をお願いいたします。

さて、新成人となった皆さんは、今生涯における大きな節目を迎え、新たな未来へ向け、今後どのような人生を歩んで行くのか考え、希望を膨らませておられると思います。

そんな皆さんに私が送る言葉は、「何事にも無関心でいることなく、自分事として行動する事」です。

ある新聞の元旦の社説に、長崎原爆資料館に掲げられた「長崎から

のメッセージ」が紹介されていました。そのメッセージは、核兵器、環境問題、新型コロナという「世界規模のリスク」を三つ挙げ、「それらに立ち向かう時に必要な事、その根っこは皆同じだ」すなわち、「自分事だと自覚し、人を思いやり、結末を想像し、行動に移すこと」。それは誰もが当事者であり、行動が求められているということでした。

世界中が新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされている中で、皆さんは一生に一度の成人式を迎えられましたが、これから直面する様々なリスクとどう向き合い、どのように行動すれば良いのか、考えるきっかけにして頂きたいと思います。

何事にも無関心でいることなく、自分事として考え行動すること、これは間違いなく皆さんの人生を豊かなものにし、社会を良くする原動力になると確信しています。

ところで、今地球上での一番大きなリスクは気候危機ですが、その影響は皆さん方を含む未来世代に深刻な影響を及ぼすことが心配されます。

スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさんが15歳の時にたった一人で始めた気候危機に対する抗議行動「フライデーズ フォー フューチャー」は、ネットなどを通じて全世界の若者に広がり、日本を含む7500都市1400万人が参加するまでに拡大しました。この行動が世界の政府を動かして、気候変動対策を大きく前進させました。まさに若い人たちの自覚的な行動が社会を変えていく原動力となりました。

大木町では、皆さんがまだ小学生だった、平成20年には「大木町もったいない宣言」を公表し、いち早く町ぐるみでごみの分別資源化

の徹底に取り組みました。また、令和元年12月には国内では4番目となる「気候非常事態宣言」を公表し、気候変動対策に積極的に取り組むことを表明しました。

大木町はこれまで一貫して未来世代につけを残さないまちづくりを目指しています。このような大木町の取組は全国から注目されていますが、どうか皆さんもそんな町で育った事を心に止めて置いていただきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症は私たちの社会に深刻な打撃をもたらしていますが、同時に社会の変化を加速させています。リモートワークやオンライン授業などのIT化を加速させ、一方では都市のリスクを炙り出し、地方が見直され始めています。

これからの社会の有り様が大きく変わる中で、若い皆さんの柔軟な発想や感性、情熱、行動力が、社会を変えて行く原動力であります。大木町の担い手としてまた日本の未来を託された若者として、ご活躍頂く事を心より願っています。

また、皆さんにとって、いつになっても、何処にいても大木町はふるさとであり、ご家族や恩師の方々、信頼できる仲間がいることを、そして皆さんを育んだ堀や田んぼや地域があり、いつでも皆さんを応援していることを忘れないでください。

結びに、本日の成人式の開催にあたり、企画運営にご尽力をいただきました実行委員会の皆さん、お世話頂いた関係者の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

最後に、洋々たる海原に大きな夢と希望を乗せて船出する新成人の

皆さんの前途に、幸多からんことを祈念致しまして、お祝いの言葉と致します。

令和3年1月11日

大木町長 境 公雄